

ご記入にあたっての留意事項

×は正しく集計できないケースです。

1. 判断項目

調査項目	回答区分	コード番号	最近	先行き
1 貴社の業況	1.良い 2.比較的良い	601	2	2
2 貴業界の国内での競合サービス競争	1.需要超過 2.仕立手前 3.供給超過	602	3	×
3 貴業界の海外での競合サービス競争	1.需要超過 2.仕立手前 3.供給超過	603	3	2
4 貴社の新商品在庫水準	1.過剰 2.適量 3.不足	604	2	×
5 貴業界新商品の流通在庫水準	1.過剰 2.適量 3.不足	605	2	×
6 貴社の生産・営業用設備	1.過剰 2.適量 3.不足	607	2	×
7 貴社の雇用人員	1.過剰 2.適量 3.不足	608	2	×
8 貴社の資金繰り	1.楽である 2.やや厳しい 3.厳しい	609	2	×
9 金融機関の貸付制度	1.優 2.やや厳 3.厳	612	×	×
10 ※借入金利水準	1.上 2.適 3.下	613	9	9
11 CPの発行環境	1.楽である 2.やや厳しい 3.厳しい	619	9	9
12 貴社の販売価格	1.上 2.適 3.下	614	2	/
13 貴社の仕入価格	1.上 2.適 3.下	615	×	×

「最近」、「先行き」ともにご回答ください。

「最近」、「先行き」とも同じ数字である場合も、両欄に数字をご記入ください。

選択肢にある「1, 2, 3」のいずれかでご回答ください。太枠欄には数字以外のものを記入しないでください。

該当がない場合は「9」をご記入ください。

現時点での貴社内の感触でも結構ですので、ご回答ください。

・太枠内については、概数（現時点での貴社内の目標や感触をだまかに計数化したもの等）でも結構ですので、全ての欄へご記入ください。

・前回までにご回答頂いた計数に修正や訂正がない場合でも、前回計数下部の太枠欄にご記入ください。

・該当する計数がない場合は、空欄とせず、0をご記入ください（為替レートを除く）。

3. 物価見通し

「分からない」または「イメージをお持ちではない」場合は、該当の選択肢番号をお選びください。

- (1) 貴社の販売価格の見通し → 選択肢 10
- (2) 物価全般の見通し → 選択肢 21 ~ 23

(1) 貴社の販売価格の見通し

貴社の主要製品・サービスの国内向け販売価格または主要サービスの国内向け提供価格に関して、現在の水準と比べて1年後、3年後、5年後の物価の見通しに最も近いものを、以下の選択肢(1~10)の中から選んで太枠内にご記入ください。

時点	コード番号	回答欄
1年後	201	4
3年後	202	×
5年後	203	×

(2) 物価全般の見通し

物価全般（消費者物価指数をイメージしてください）の物価について、1年後、3年後、5年後はそれぞれ何%になるかと考えます。貴社のイメージに最も近いものを、以下の選択肢(11~20)の中から選んで太枠内にご記入ください。なお、「イメージを持っていない」場合には、該当する理由を選択肢(21~23)の中から選んで太枠内にご記入ください。

時点	コード番号	回答欄
1年後	204	16
3年後	205	15
5年後	206	×

【物価全般の見通し】

物価全般は消費者物価指数をイメージしてご回答ください。

<参考>消費者物価指数とは？
消費者物価指数は、全国の世帯が購入する各種の商品（財やサービス）の価格の平均的な変動を測定したものであり、総務省が作成・公表しています。

2. 年度計画

整数値（小数点以下四捨五入）でご記入ください。

前回計数に修正がある場合は、太枠欄にご記入ください。

前回計数に修正がない場合も、太枠欄にご記入ください。

太枠欄には数字以外のものを記入しないでください。

調査項目	期間 コード番号	N-2年度		N-1年度		N年度	
		上期実績(4~9月)	下期実績(10~3月)	上期実績(4~9月)下	実績(10~3月)上	上期予測(4~9月)	下期予測(10~3月)
売上高	102	1209	1299	822	1557	1333	1450
うち輸出	104	352	421	529	461	513	590
為替レート(円/ドル)	118	107	110	112	111	108	108
為替レート(円/ユーロ)	119	122	122	125	124	122	122
経常利益	308	82	69	132	64	129	194
当期純利益(税引き後)	309	49	348	222	42	44	100
		N-2年度実績		N-1年度実績		N年度予測	
設備投資額(有形固定資産新規計上ベース)	109	262		78	79	0	89
うち土地投資額	108	0		0	0	0	0
ソフトウェア投資額(無形固定資産新規計上ベース)	112	4		0	0	0	2
研究開発投資額	117	0		1	0	0	0

経常利益、当期純利益が損失の場合には、金額の前に「-」ではなく「△」を付けてください。

設備投資額の内訳項目である土地投資額が、設備投資額を上回ることはありませんのでご注意ください。

該当する計数がない場合も空欄とせず、0をご記入ください。

4. 新卒者採用状況

調査項目	期間 コード番号	N-1年度	N年度	N+1年度
		入社実績	入社予測	入社予測
新卒採用者数	401	21	22	24

印字計数に修正がない場合も、太枠欄にご記入ください。

印字計数に修正がある場合は、下段にご記入ください。

現時点での貴社内の感触でも結構ですので、ご回答ください。

5. 海外関連項目

内訳項目が、その上位項目を上回ることはありませんのでご注意ください。

調査項目	期間 コード番号	N-2年度	N-1年度	N年度
		実績	実績	予測
連結売上高	511	2636	2945	3060
うち海外売上高	512	48	5	56
連結経常利益	513	200	205	207
連結設備投資額	514	310	250	317
うち海外での設備投資額	515	48	142	226

前回計数に修正がない場合も、太枠欄にご記入ください。

該当する計数がない場合も空欄とせず、0をご記入ください。

・判読が難しい数字例

9 or 0? 6 or 0? 2 or 7? 6 or 8? 7 or 1?

ご回答計数は、分かり易くご記入くださいますよう、よろしくお願い致します。